



れんけいと支援



富山市今泉北部町 2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2015年2月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

当院でのインフルエンザアウトブレイク時の取り組みについて



血液内科部長 寺崎 靖
院内感染対策委員会副委員長

当院の感染対策チーム（Infection Control Team：ICT）は、野島院内感染管理者をリーダーとし、現在は感染制御ドクター（Infection Control Doctor：ICD）2名、感染管理認定看護師（Certified Nurse in Infection Control：CNIC）2名を含む看護師6名、感染制御認定薬剤師（Board Certified Pharmacist in Infection Control：BCPIC）1名を含む薬剤師2名、臨床検査技師2名の計12名で構成されています。業務内容は、感染症治療における患者さんへの対応、医療従事者の防御、器具器材や施設設備の管理など多岐に渡りますが、院内感染集団発生（以下アウトブレイク）時の対応も重要な仕事の一つです。今回は、当院でのインフルエンザアウトブレイク時の取り組みについてご紹介いたします。

インフルエンザアウトブレイクは、「1例目の発見から1週間以内に同一病棟において新規の発症例が計3例以上特定された場合」を基本とします。入院患者さんや職員からインフルエンザの感染が確認されると、まずCNICが対応します。発症者が患者さんの場合、病棟内で個室管理またはコホーティングをします。同室者は感染している可能性があると考え、潜伏期間である3日間は部屋移動をせず、抗インフルエンザ薬の予防投与が検討されます。また、新たな患者さんを同じ部屋に入室させないようにします。更に、他の患者さんも感染している可能性は否定できないため、他病棟への転棟を制限します。これがアウトブレイクした場合、ICTが介入し、発症者の感染状況などを考慮した上で予防投与をするかどうか協議します。予防投与は、当該病棟患者さん全員、および感染可能期間である1例目発症前日から当該病棟に関わってきた職員全員が対象となります。予防投与が決定した場合、説明を行い同意書に署名していただき、当日より開始します。なお、当該病棟への新規入院は一定期間制限されます。今シーズンは現在まで3つの病棟でアウトブレイクが起りましたが、ICTの早期介入により、いずれも拡大することなく終息しました。

まだしばらくはインフルエンザの流行が続きます。先生方には感染予防および感染拡大防止のため、患者さんに手洗い、咳エチケットの徹底および必要時にはマスクの着用をお願いしていただければ幸いです。

Contents

当院でのインフルエンザアウトブレイク時の取り組みについて	1
2月の地域連携・開放型病床症例検討会報告	2
研修・講演・勉強会のご案内	3
医療技術部門の紹介	4
医師不在のお知らせ	4
編集後記	4

1. 地域連携・開放型病床症例検討会

日時：3月10日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

1) ミニレクチャー：「うつ病と新型うつ病」

精神科 柴田 真由子

うつ病をはじめとする精神疾患は日本を含む先進諸国において人々の生命・生活を脅かす最大健康被害要因となっており、がん、循環器疾患と並ぶ三大疾患と位置付けられています。うつ病の推定患者数は全国で約100万人を超え、自殺の原因となる精神障害の中で3割を占めていると言われています。うつ病に罹患しながらも正しい知識がないために治療がなされていないケースもいまだ多く存在すると思われ、自殺予防のためには重症のうつ病に対する治療の成功が必要と考えられます。しかし、近年、うつ病の概念が拡大しており、うつ病診断の

混乱を招いています。従来のうつ病の特徴としては「中高年に多く、几帳面、徹底性、強い責任感、自責的、自罰的」と言われていましたが、これとは異なるタイプのうつ状態が現実の臨床には増え、「新型うつ病」という分類で企業のメンタルヘルスやマスキミの報道などでも取り上げられることが多くなっています。いまやcommon diseaseになりつつあるうつ病に関して、その概念、診断と治療について、また合わせて、「新型うつ病」についても解説させていただきます。

2) 症例検討（2例）

①『CTで診断しえた悪性腫瘍』

放射線科 杉盛 夏樹

②『緊急インターベンション治療をおこない、外来心臓リハビリを継続している心筋梗塞の1例』

循環器内科 向井 勇介

予告

日時：4月14日（火）19：00～20：15 場所：当院3階 講堂

① ミニレクチャー：『女性ホルモン療法－最近の話題－』

産婦人科 長谷川 徹

② 症例検討 腎臓内科・泌尿器科の2例を予定しています。

2. 内科CPC

日時：3月10日（火）17：30～

場所：医局カンファレンス室

3. 医療機器研修会

日時：3月3日（火）17：45～18：15

場所：集団指導室

○テーマ「疾患別 人工呼吸器の設定・モード変更の仕方」

○講師 臨床工学技士 熊代 佳景

4. 糖尿病研究会定例学習会

日時：3月5日（木）17：45～18：30

場所：集団指導室

○テーマ「糖尿病とリスク」

○講師 当院糖尿病療養指導士

※平成27年度糖尿病研究会定例学習会は、第2木曜日に変更となり開催予定です。

5. 睦美会看護講演

日時：3月9日（月）17：30～19：00

場所：講堂

○テーマ「『ともにある』を大切にするコミュニケーション」

○講師 がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科心理療法士 栗原 幸江先生

6. 緩和医療委員会学習会

日時：3月10日（火）17：45～18：45

場所：集団指導室

○テーマ「症状コントロールⅣ（呼吸困難）」

○講師 慢性呼吸器疾患看護認定看護師

渡辺 文代

7. 褥瘡対策学習会

日時：3月27日（金）17：45～

場所：集団指導室

○テーマ「①褥瘡の治療：保存的療法」

「②褥瘡の治療：外科的アプローチメントと手術療法」

○講師 ①皮膚科医師 野村 佳弘

②形成外科医師 置塩 良政

8. 看護研修

《衛星研修 S-QUE Eナース》

日時：3月4日（水）17：40～18：40

場所：集団指導室

○テーマ「摂食・嚥下訓練の進め方実践～口から食べるリハビリテーション」

日時：3月18日（水）17：40～18：40

場所：集団指導室

○テーマ「創傷管理の最前線」

《衛星研修 S-QUE 特別企画》

日時：3月27日（金）17：00～18：30

場所：講堂

○テーマ「平成27年展望 これからの医療を語る、これからの看護を語る」



病院ボランティア
篠崎 佳子

当院の“医療技術部門”の特色やスタッフを紹介いたします。

今月は 医療安全管理室の紹介

医療安全管理室は地域の皆様に「安心と信頼」の医療を提供し続けることを目指して平成19年4月に設置されました。病院組織全体で医療事故を「予防」することを第一に活動しています。

医療安全を推進する活動として、インシデントレポートを収集し報告内容を検討、分析し医療安全対策に反映させています。医療安全管理対策委員会、部署別リスクマネージャークomiteeを開催し、院内の医療安全対策を総合的に検討しています。また、医療安全ラウンドは組織横断的に行い問題点があれば指摘して解決に向けた話し合いを行っています。そして、病院職員を対象に医療安全に関する研修会を開催して、医療スタッフのスキル向上、安全意識の向上に努めています。

当院では、患者家族参加型の医療安全に取り組んでいます。患者間違い予防対策としては①外来では受付番号で呼び出し、患者さん自身に氏名を名乗っていただく。②入院ではネームバンドの着用と必要時に氏名を名乗っていただく。というご協力をお願いしています。転倒予防対策としては、入院患者さんに「転倒・転落アセスメント」を実施し、転倒が予測される患者さんには履きなれた踵のある履物で入院生活を送っていただくようお願いしています。内視鏡検査を予定される患者さんや、手術を予定される患者さんには「血液を固まりにくくするお薬（抗凝固薬）」を服用していないか調べさせていただいています。お薬手帳をお持ち下さるようにもお願いしています。

安心と信頼の医療を提供し続けることを目指して取り組みをすすめていきたいと思ひます。これからも宜しくお願い致します。



医師不在のお知らせ ※外来担当日の休診のみ掲載

3月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	6日	林	外科・消化器外科	5日、12日、19日	泉
	27日	藁内	乳腺外科	4日～6日	廣澤
	6日、20日	清水		5日、9日、24日	月岡
	2日	芝		6日	武居
	24日	山口	形成外科	18日	宮下
	16日	小松	脳神経外科	3日	塚田
精神科	6日、23日～27日	長谷川		5日、6日、23日～27日、30日、31日	得田
	18日～20日、30日、31日	伊東	16日、24日～27日	山野	
呼吸器・血管外科	23日～26日、30日、31日	草島	泌尿器科	10日、11日	元井
整形外科・	6日、13日	坂越	麻酔科	23日～25日	高木
関節再建外科	20日	重本	健康管理科	5日、11日、12日、16日	荒屋
小児科	2日、16日、27日、30日	金田	※ その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。		

内科外来の改修工事が終わりました

内科外来が一新し、2月より診療をおこなっています。



編集後記

立春が過ぎ、暖かな春の訪れを待ちわびている今日この頃です。

今年は予測していたとはいえ、例年よりも早い時期のインフルエンザ、感染性胃腸炎の流行により、病床の準備が困難になり、ご依頼があっても受け入れができないなど非常にご迷惑をおかけしております。

ご紹介患者さんの受診の連絡の際にも、発熱症状にはインフルエンザ検査実施のご協力や、症状を詳細に確認させていただくなど、ご多忙を承知でご協力の依頼をしておりますが、快く受けていただき感謝申し上げます。

今後は、紹介患者さんの円滑な受け入れができるよう退院調整や、職員自ら自己管理を怠らず業務に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ふれあい地域医療センター 谷山 真理子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。

送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp